

あいさつ

宮古島市立教育研究所長 與儀 千寿子

そば降る雨にも暖かさが感じられる季節になりました。海は春潮の勢いが増し、自然の営みの豊かさと不思議さを見せてくれます。

平成23年度の教育研究所の営みも明日への希望と日々の精進への決意と共に始まりました。適応指導教室「まていだ教室」、教育相談室も22年度と同じメンバーでスタートします。昨年度の課題を踏まえ、より一層充実した取り組みが出来るよう頑張っていく所存です。各学校をはじめ、関係機関との緊密な連携を作りながら、児童生徒の心の拠り所であり続けたいと考えています。

さて、スタッフ全員が2年目の教育研究所に、新しいメンバーを迎えました。平成23年度第10期研究教員、西城小学校教諭、福原保先生です。研究教科は「小学校理科」です。

新指導要領においては理科の授業時間数が増やされ、科学的な体験や自然体験に基づいた学習活動の充実が図られることになりました。この学習指導の充実は、ひとえに教師の指導力にかかっていると言えます。JST（独立行政法人科学技術振興機構）は、日本の理科教育が抱える問題として小学校の理科教育改善施策をとりまとめました。その中でも小学校理科教育の一層の充実がうたわれています。福原教諭が研究科目に「理科」を選択したのは時宜を得たものであり、学校現場のニーズに応えるものだと確信しています。ともに学んでいきたいと思っています。

OECD（経済開発機構）の加盟国で行われたPISAの国際学力調査を分析した結果、日本は理科の授業において、「探求心や自信、楽しさ、目的意識が足りない」「学力の差が大きく受動的な学習になっている」「自ら疑問を見つけて問題集にない問題の解決を」という課題が挙げられています。

自然事象や体験活動の中で「あれ、どうしたんだろう」「なぜ、そうなるのだろうか」「きっとこうなっているのではないか」「もし～ならば、〇〇になるはずだ。」などと考える子どもの知的好奇心や課題意識をどのように育てたらよいだろうか。幼児の頃の「なんでだろう」という子どもらしい好奇心を、心身の成長と学ぶ力の育ちにに応じた課題解決力に育てていくためにも小学校理科の授業改善の課題は大きいと思います。

昨年度は、教育研究所の諸事業に各学校のご支援ご協力をいただきました。感謝でいっぱいです。また、校内研修や学校行事・学年行事への協力依頼等もあり、少しずつですが各学校との連携も図れたと思います。今年度も教育研究所として微力ながらお役に立ちたいと考えています。

これまで以上のより一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

【まていだ教室】

一人一人にあった指導・支援を!

「まていだ教室」の担当をして今年で二年目になりました。これまで関わってきて感じたことは、まず一つ目は指導や支援の難しさです。子どもの心に寄り添い、情緒の安定を図れるよう、諸活動に取り組んできましたが、思うようにいかないことも多く、日々葛藤の連続でした。しかし、少しずつコミュニケーションがとられるようになってきたり、笑顔も増え、学校へも行けるように変容していく姿を見ると、何とも言えない喜びでした。

二つ目は、まていだ教室へ来る子どもたちの心因性の問題です。少人数ではありましたが、一人一人抱えている問題は、とてつもなく大きくて、心の痛みも深く根強い事も改めて思い知らされました。一人一人の辛さや苦しみは親でさえわからない部分があり、難しい問題であることです。普通に元気で学校に通っていることが、どんなに幸せなのかをこまていだ教室に来て初めてわかりました。

今年さらさら個々の実態をしっかり把握し、一人一人に寄り添った支援ができるように頑張りたいです。そして、心と心のふれ合いを大切に、自立できるように、学校復帰にむけて一步一步前進できるような取り組みをしていきたいと思っています。

学校をはじめ、いろいろな関係機関の方々にこれからもお世話になると思います。ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



指導教諭 亀川 典子
指導員 前川 尚代
指導員 砂川 さつき

【教育相談室】

「心寄せ合いふれ合いを大切に」

春・・・多くの人が新しい環境で、第一歩を踏み出す季節・・・

私たち教育相談員四人にも、それぞれ委任状が交付され、今年もまた心新たにスタートしました。

昨年は四人とも初めてで、相談室に来る生徒の対応、保護者との電話相談、訪問相談等を精一杯頑張ってきたつもりでしたが、時が進むにつれ、自分たちのこなしている児童・生徒・保護者への対応の仕方への疑問点も数多く浮かび、反省せねばならないこともありました。しかし、なにはともあれ、相談室を訪れた児童・生徒・保護者と私たちの人間関係や「心と心の大切なふれ合い」はスムーズに行われていたのではないかと自負しています。

問題解決は、子どもや保護者に「現状を改善したい」という前向きな気持ちがあれば、必ずその糸口が見つかります。と昨年もお話しました。今年もまた、私たち相談員は「心を寄せ合いふれ合いを大切に」、誰もが安心して相談できるようにしたいと心を1つにしております。よろしくお願いたします。

SSW・巡回相談員・その他の関係機関の方々にもお世話になります。ご指導・ご支援よろしくお願いいたします。

<教育相談員>

濱元誠喜 狩俣芳子 立津和代 宮平幸子